

# 離床センサー Vol.115 2019.2

## 現場レポート!



離床センサーをお使いの現場からレポートいたします!

### 武蔵村山病院様の導入例とその効果について

【使用センサー】 コールマット・徘徊コールⅢ × 31台      サイドコール・コードレス × 1台

#### Q. 離床センサーの選択基準やルールはありますか？

離床センサー使用の判断は、入院時アセスメントが重要だと考えています。

アセスメントや前医からの情報が無いと、適切に使用できずに事故が発生してからの使用となる可能性があるからです。

患者ごとに状態が異なるため柔軟に対応しますが、基本的には当院作成の「転倒・転落フローシート」に沿って患者別に設置場所などを考えて使用しています。

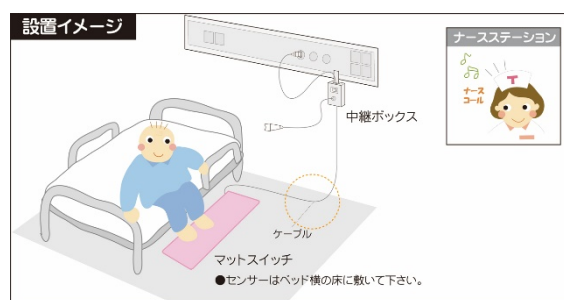


【設置場所イメージ写真】

#### Q. 離床センサー使用時の工夫や効果を教えてください。

様々なセンサーを導入して、それぞれの機種で異なる使い方や設置が必要になると現場スタッフが混乱するという思いから、導入機種に統一感をもたせて、スタッフがより確実に使用できる「コールマット・徘徊コールⅢ」を使用しています。

保管や使用の管理は各病棟で行っていますが、使用事例については各病棟間で情報を共有しています。



【設置・報知イメージ】

#### Q. 離床センサー使用の評価や課題はありますか？

ナースコールを押さない患者さんや、独り歩きにリスクがある患者さんの行動を離床センサーでフォローして、ベッドから離れて動き出そうとするタイミングで介助できるので転倒予防に効果を感じています。

特にスタッフの人手が少ない夜間帯で、目の届かない場所にいる患者さんの動きをフォローできることに離床センサーの導入効果を感じています。

